

津久井総合事務所を中心とした公共施設のあり方を考える 市民対話ワークショップNEWS 第3号



●第3回市民ワークショップを開催しました

11月20日（土）に第3回ワークショップを開催し、16名の方にご参加いただきました。

第3回は「再編のコンセプトを考えよう！」をテーマに、キャラクターカードを用いて「利用者」と「管理者」の役になりきるロールプレイ方式で、総合事務所周辺を中心とした新しい公共施設のあり方を検討しました。

1. あいさつ

- ・ ファシリテーターのあいさつ

2. 第1・2回振り返り

- ・ 課題・魅力の再確認

3. グループワーク

- ・ 総合事務所周辺を中心とした新しい公共施設のあり方の検討

4. 学生からの発表

- ・ 津久井総合事務所周辺の交通量調査とまちの提案

5. 発表・意見交換

- ・ グループごとの発表

6. まとめ

- ・ ファシリテーターによるまとめ

「グループワークの手順」

- 1 **利用者キャラクターカードを一人一枚選び、役の立場で意見を考える**
- 2 **管理者キャラクターカードを一人一枚選び、役の立場で意見を考える**
- 3 **出された意見を地図に貼り、同じ意見や似たような意見を分類していく。**
- 4 **全体のタイトル（テーマ）を考える**

『キャラクターカード』の一覧

利用者	管理者
① 赤ちゃんが生まれたばかりの家族	1 総合事務所管理者
② 小学生の子どもを持つ親	2 中央公民館・老人福祉センター管理者
③ 中野小学校、中学校に通う子ども	3 保健センター管理者
④ 地域で働く、働き世代	4 緑区役所（定住促進・地域活性化）
⑤ アクティブに活動するシニア世代	5 財政課（財源確保）
⑥ 移動に車いすが必要な人	6 経営監理課（公共施設マネジメント）

表面 裏面



キャラクターカードの裏面には意見を考える材料として、キャラクターのヒントが書いてあります！

芝浦工業大学学生からの発表

交通量調査を5箇所（各20分間）で実施した。自動車やバイク・自転車は国道のほうが旧道に比べ圧倒的に多く、歩行者に関しては国道、旧道ともに極めて少ない結果となった。

今までのフィールドワークやワークショップの内容を基に、「楽しく歩いて人々が集う中野」というテーマで、中野エリアがどのようになったら良いかを提案。

●ファシリテーターのまとめ

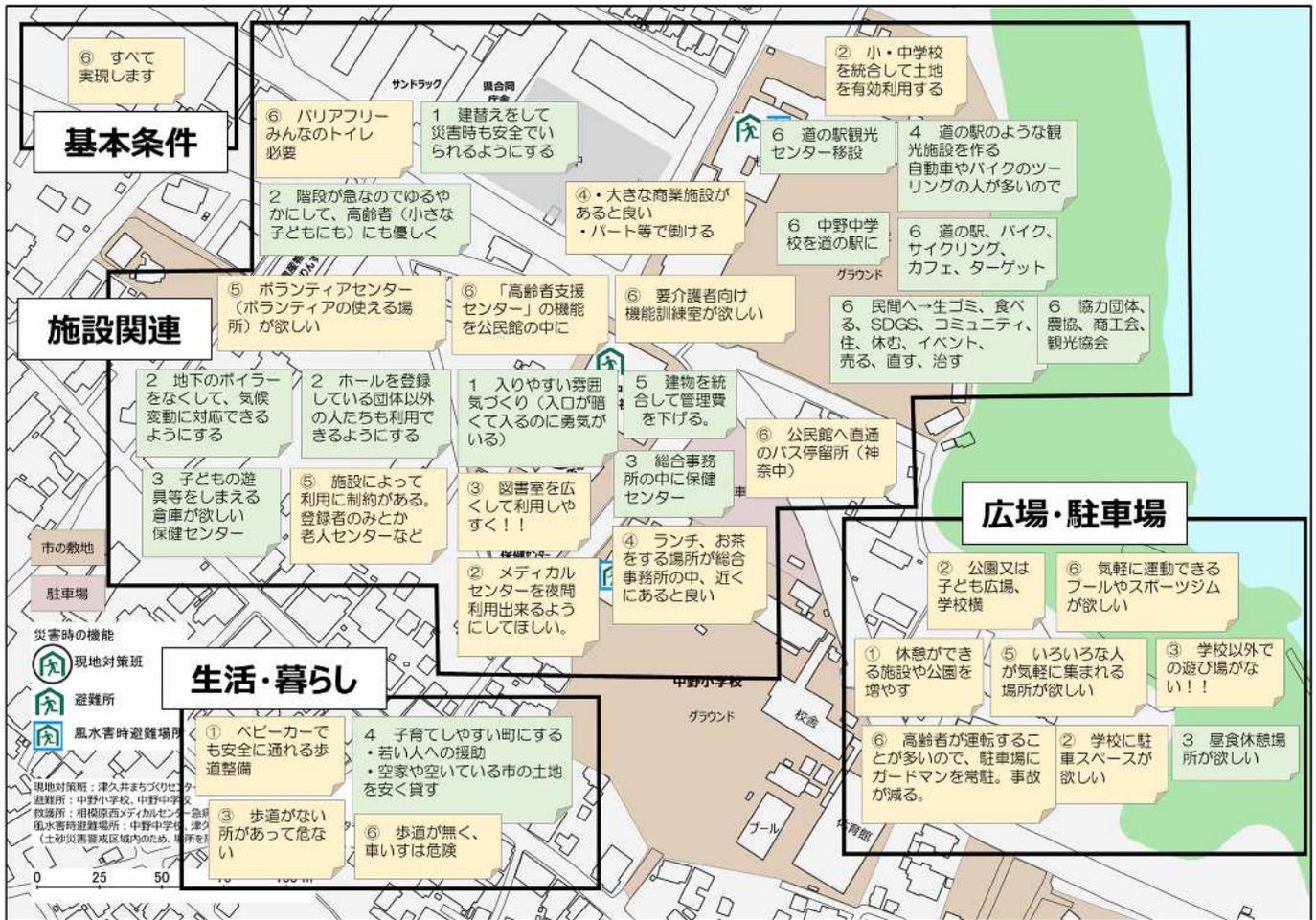
- ・ 第3回は発想が広がる楽しい作業で、各グループから素晴らしいアイデアが出されました。出された意見を全て実行するのは難しいですが、重要なキーワードが出されていたので、大切なポイントを認識して取り組んでいくことが必要になります。
- ・ ロールプレイを通じ、違った立場で考えることの難しさを実感されたと思います。市民と地方自治体が相互に理解し、広い視点で津久井総合事務所の建替えを考えていく必要があります。
- ・ 次回（第4回）は本日の結果を踏まえて、資金面や運営面も確認し、現実として津久井総合事務所をどうしていくか検討していただきたいと思います。



芝浦工業大学 志村教授

Aグループ

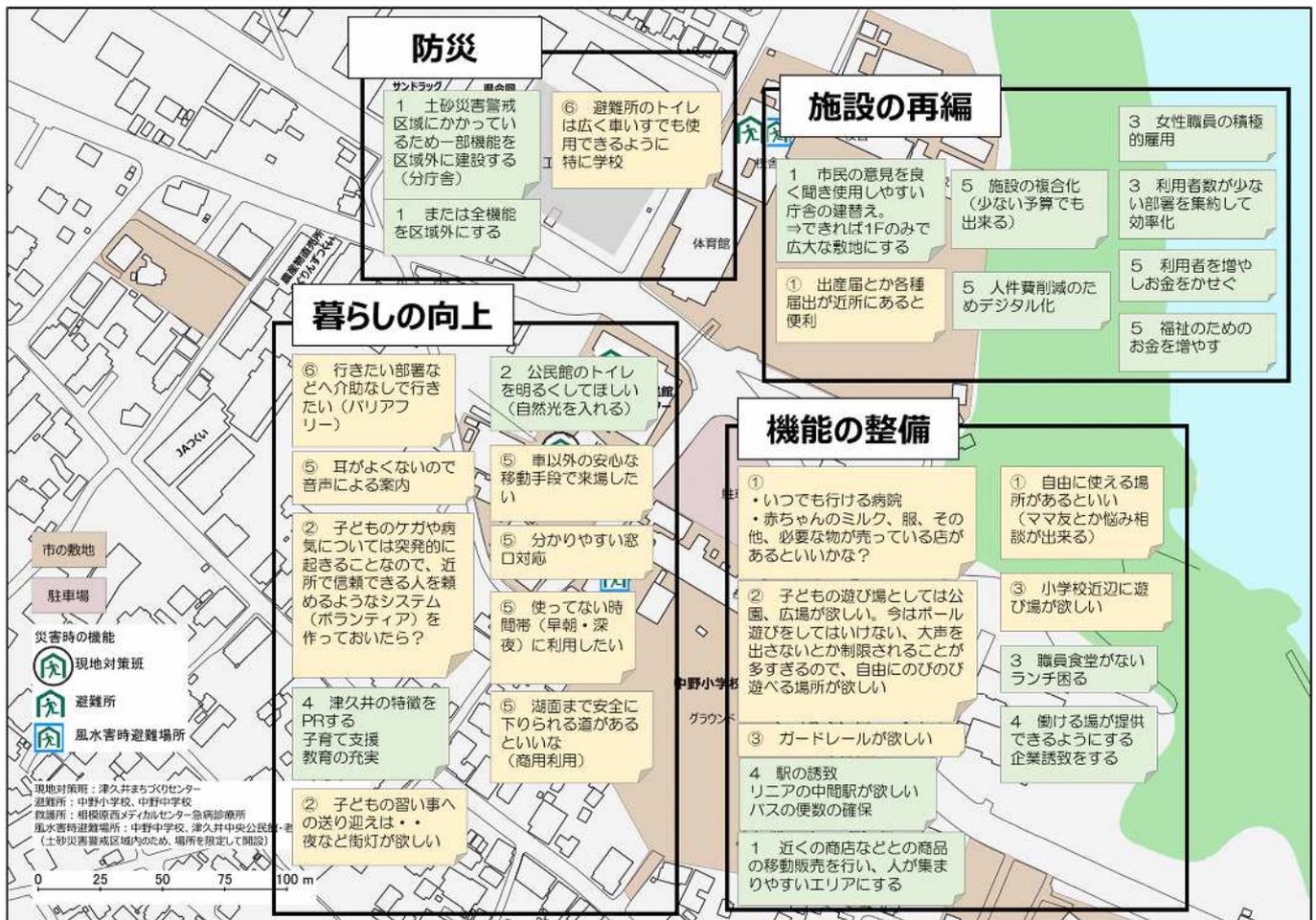
総合事務所を中心に官民でつくる活気のあるまちづくり



●グループワークの意見（一部抜粋）

分類	キャラクター	内容
施設関連	利用者	バリアフリーみんなのトイレ必要。高齢者や小さな子どもにも優しい施設を。図書室を広くして利用しやすく！！「高齢者支援センター」の機能を公民館の中に。
	管理者	総合事務所の中に保健センター。建物を統合して管理費を下げる。道の駅のような観光施設を作る。（ツーリングをターゲット）
生活・暮らし	利用者	歩道がない所があって危ない。車いすは危険。ベビーカーでも安全に通れる歩道整備。
	管理者	子育てしやすい町にする。若い人への援助。空家や空いている市の土地をやすく貸す。
広場・駐車場	利用者	学校以外での遊び場がない！！休憩ができる施設や公園を増やす。学校に駐車スペースが欲しい。
	管理者	昼食休憩場所が欲しい。





●グループワークの意見（一部抜粋）

分類	キャラクター	内容
防災	利用者	避難所のトイレは広く車いすでも使用できるようにしたい。
	管理者	土砂災害警戒区域にかかっているため一部機能を区域外に建設する（分庁舎）。
施設の再編	利用者	出産届とか各種届出が近所にあると便利。できれば1階のみで広大な敷地にする。
	管理者	利用者が少ない部署を集約化。施設の複合化。人件費削減のためデジタル化。
暮らしの向上	利用者	行きたい部署などへ介助なしで行きたい。耳がよくないので音声による案内。使っていない時間帯（早朝・深夜）に利用したい。
	管理者	公民館のトイレを明るくしてほしい（自然光を入れる）。
機能の整備	利用者	小学校近辺に遊び場が欲しい。ガードレールが欲しい。
	管理者	近くの商店などの商品の移動販売を行い、人が集まりやすいエリアにする 職員食堂がないランチ困る。



Cグループ

行ってみたい住んでみたい～水と緑の魅力を感じる公共施設～



●グループワークの意見（一部抜粋）

キャラクター	内容
利用者	<ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんの親同士が、連携できるような施設を考えてほしい。 LGBTQの方が利用しやすいみんなのトイレを設置。 「楽しめる」「共生」の視点をもった公民館、子どもの遊び場。 車いすの人もカフェスペースなどのこいの場にも入りやすい工夫。 キッチンカーのようなものが来てランチできると良い。 予約が取りづらい（老人福祉センター）→予約制度の見直し。 駐車場の少ない→駐車場を増やす。
管理者	<ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラ（グリーンカーテンでの冷房効果など）エコに配慮した建物。 困っている人（相談したい人）が入ってすぐに聞きやすいコンシェルジュ的窓口。わかりやすい案内板。 津久井産の木材をうまく活用した建物。潤水都市→水と緑がイメージできる、木の活用。 空家や空き農地を活用し、移住や2拠点生活の推進。 ボランティア等の有効活用（リタイア世代等）

